

第18回 予防衛生協会セミナー

「再生医療研究におけるサル類の有用性」

日時： 平成27年2月14日（土）
場所： つくばサイエンス・インフォメーションセンター 大会議室
つくば市吾妻1-10-1（つくばエクスプレスつくば駅徒歩3分）
募集： 100名
主催： 一般社団法人予防衛生協会

プログラム

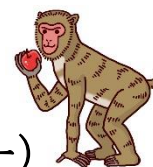
9：40 開会挨拶
来賓挨拶

＜再生医療研究におけるサル類の有用性＞

9：50 「マーモセットを用いた再生医療研究の現場から」
井上 貴史（実験動物中央研究所 マーモセット研究部）



10：30 「再生医療研究に貢献するカニクイザル」
下澤 律浩（医薬基盤研究所 霊長類医科学研究センター）



11：25 「大動物を用いた再生医療研究～ヒト血液細胞をもつヒツジの作出」
阿部 朋行（自治医科大学 分子病態治療研究センター 再生医学研究部）

＜ポスター展示＞

12：05 昼食・休憩



＜研究助成事業＞

13：05 研究奨励賞・技術奨励賞授賞式

13：15 平成25年度研究奨励賞受賞者講演

「宿主遺伝子情報に基づいたHIV-1カニクイザル感染モデルの開発」
齋藤 暁（Aaron Diamond AIDS Research Center）

＜特別講演＞

13：45 「エボラウイルスとサル類」 山内 一也（東京大学名誉教授）

＜トピックス＞

15：00 レーザー技術を用いたサル類飼育ケージと観察用ケージの開発
後藤 進（株式会社ロクス）

15：30 総合討論

*交通案内、駐車場利用等周辺情報については、
つくばサイエンス・インフォメーションセンター
(<http://www.city.tsukuba.ibaraki.jp/2117/007622.html>)
をご参照ください。